

会 議 録

件 名	橋本小学校・学文路小学校・清水小学校 保護者説明会・意見交換会（第2回）
日 時	令和7年2月11日（火）午後2時00分から午後3時10分まで
場 所	教育文化会館3階第1研修室
参加者	保護者 10名（家庭数 9） 今田教育長、田中委員、簗下委員、中下委員、岡教育部長、阪口参事、 丸山教育総務課長、大谷学校教育課長、長谷川生涯学習課長、 東学校再編推進係長、東川、中山

教育長挨拶、資料説明の後、質疑応答、意見交換になりました。

なお、出席した保護者には、資料と合わせて、意見等を記入できる二次元コードを用意しました。欠席した保護者にも二次元コードにて、資料を閲覧、意見等を記入できるよう準備しました。

本説明で出された意見等は、以下のとおりです。

1－1. 学校再編基本方針見直し案ですけども、4年前娘が入学する際に、学文路小学校に入学したときに、もう清水小学校と再編統合してればいいのにというふうに個人的には思っておりましたんで、今回のこれにネガティブな考えはないんですけども、令和10年度から13年度、3年遅くなっている理由というのはまず为什么呢。

（教育委員会）

今回、3年時期が延びている形になるんですけども、再編後は橋本小学校にいくという想定で校舎の改修などに時間がかかってしまうというのがありますので、3年間、時期が延びたという形になります。

1－2. あともう1つ。スクールバス等の通学支援についてなんですけども、登校時というのは、ほぼ皆さん同じ時間でいいと思うんですけど、学年によって下校の時間が違う。また、放課後に遊んで帰る。そこそこ時間が変わるのかなと思うんですけども、この場合というのは、バスはピストンのような形で何本か出していただく予定なんですか。それともこの時間で帰ってくださいということになるんですか。

（教育委員会）

スクールバスですけども、今も隅田小学校は運行しているところなんですけども、高学年と低学年とである程度時間が違ったりもしますので、1本だけじゃなく2本とか走らせた状態もありますので、そういった形の運用になっていくと思います。

2－1. 2点お伺いします。1点目がこの13年度を目標にということなんですけども早めること、また遅れることというのは全然想定されてるんですか。

(教育委員会)

13年度ということで現状ここを目標値としています。例えば、社会情勢が大きく変わったりとか、そういった場合がなければ13年度を目標に今のところは考えています。

2－2. もう1点なんですけど、スクールバスですけれども、使ったことがないのでわからないんですが、決まった時間にその乗り場に集合するのは当然と思うんですけれども、もし遅れてしまった場合は待っていただけるのか、保護者に連絡が入るのか、勝手に行ってしまうのか、こういった対応になってるんですか。

(教育委員会)

停留所はある程度の箇所で作る予定をしているんですけれども、時間どおり来ていただければありがたいです。乗り降りが確認できるような仕組みとか、システムを入れられないかとか、例えば地域の方の見守りをお願いできるのであれば、そういったところもしながら、何らかのことで乗り遅れた場合には、こういった連絡は取るような形を考えていければと思います。

3－1. 境原小学校と城山小学校の統合が一番遅れてると思うんですけど、その理由は何でしょうか。

(教育委員会)

今回の見直しで境原小学校と城山小学校というのが14年度の予定にしています。この境原小学校には災害の懸念があるという形で、当初は令和9年度という形を考えていました。ただその中で、災害の対策を実施するという方針でいてまして、その対策ができてきましたら、ある程度、人数的なものも境原小学校というのは、当面の間は一定の規模が確保される状況になっていますので目標年度を設定しています。

3－2. 境原小学校で何人、在校生おられるんですか。

(教育委員会)

現在の児童数ですけれども、境原小学校は令和6年度で117名になっています。城山小学校は283名になってます。令和12年度時点なんですけれども、境原小学校については、162名が予想され、城山小学校は168名で見込まれているところです。

3－3. そもそもこの統廃合というのは、去年から説明に来ていただいて動き出したと思うんですけど、それは橋本市の財政難の面から統廃合しなければもう成り立たないということで始まったんでしょうか。実際はどうなんですか。

(教育委員会)

もちろん財政状況が厳しいのはあるんですけども、財政難というわけではなくて、まずは子供の状況、子供さんの人数が減ってきているというのが大きな要因の1つです。

3-4. そしたら、小規模校のメリット・デメリットを考えて、統廃合を進めていこうという感じになっているということでしょうか。

(教育委員会)

小規模校は小規模校でいいところもたくさんあるんですけども、教育委員会としては、一定の規模の中、ある程度人数いる中で、みんなで競い合いながら、みんなでたくさんの意見を聞きながら、学んでいただければと思って考えています。

3-5. そうしましたら、財政難でなければ、このまま統廃合せず維持するというのもできるということですね。統合なしで。保護者からいろいろな意見があれば。

(教育委員会)

そういったことはもちろん、その選択肢はあるかと思うんですけども、我々としたらやはり先ほどから申しましたけども、ある程度的人数の中で学んでいただきたいという思いがありますのでこの計画を進めていきたいと考えているところです。

3-6. ただ、河南に小学校がなくなってしまうと、新しい若いご家族が引っ越してくることはちょっと。やっぱりスーパー・病院・学校が、新しい家族がここに住もうかという基準になってくるかと思うんです。河南になくなっちゃいますと、おそらくもっと減ると思うんですけど、橋本市としては学校を残して、そういうさっきも0歳から9歳は増えてるといふ転入があったんで、それやったらこのまま残してもいいんじゃないかなあと思うんですけどその点はいかがでしょう。そして市長さんもどう思うかなんでしょうか。

(教育委員会)

ご意見ありがとうございます。河南に学校を残すということで、学文路小学校と清水小学校あるんですけども、その2校を再編して、ゆくゆくは橋本へという案を持っていたんですけど、1回目の説明会でお子さんが2回学校が変わるっていう負担が生じてくる可能性があります。そこをご負担を考えたときに、やっぱりいろいろ考え直してきたときに、その子供たちの影響がぬぐい切れないのかなというのがあって、今回ちょっと期間を取らせていただいて3校という形にさせてもらいました。河南だけで望ましいクラス環境は、ちょっと限界があるのかなというのもありまして、見直させていただいた次第です。

市長の考えがということでちょっと回答するのはと思いますが、この再編の説明をこういう方針で説明をしていきますということは、市長には報告しています。これに関しては、OKをもらっている状況でございます。

3-7. あと先ほど、境原小学校が耐震工事がちょっとわからないですが、建物の強化をなさって延ばすことができたんですね。そうしますと、当初は学文路小学校と清水小学校で、清水小学校の方が耐震にちょっと問題があつてということで学文路小学校へという話だったんですけど、そしたら、清水小学校のそういうふうに耐震をしてあげたら、多分1回目の説明会にも出ましたけども、残して欲しいというような印象を受けましたので、その清水小学校を耐震をちゃんとしてあげたら統合も延ばせるんじゃないでしょうか。あと、聞くところによりますと、高野口の中学校もなんか改修されるんですね。そしたら清水小学校もしてあげられるんじゃないでしょうか。

(教育委員会)

境原小学校につきましては、校舎を改修するわけではなく、近くの斜面があるんですけども、崩れてくる可能性があるということで、それが崩れてきたときに防げるように壁を作るというような工事を考えているところです。校舎自体は耐震性もありますので、校舎自体はさわるらないという形になっています。清水小学校も耐震性は確保できています。

3-8. 清水小学校の方は、なんか駄目だからというふうに聞いたんですけど。

(教育委員会)

大きな改修がまだできていないということで、今の基準に沿って耐震性そのものは確保できている形になっています。高野口中学校は、ちょっと老朽化しているともありまして、移転の方で考えているところです。

3-9. 橋本小学校ですけども、ちょっと川に近いし、液状化の問題もちょっとあるかと思うんですけど、そこへ児童を集めるというのはどうなんですか。

(教育委員会)

川に近いという状況でありますけども、浸水の方でこれまでも警報が出ましたら対応してきていますので、引き続きやっていくような形になっていくと思います。液状化につきまして、南海トラフとか大きな地震が懸念されるわけなんですけども、橋本小学校は耐震化ができていますので、退避のマニュアルもありますので、そういったものに沿って対応していきたいと思っています。

3-10. 建物は耐震ができてても液状化というのは建物じゃなくて地面なんで、違うんじゃないですか。

(教育委員会)

地面がいわゆる液状化するような形になるかだと思います。ただ、たちまち倒壊するとか、そういった懸念といいましょうか可能性というのが、もちろん、そのどんな地震が来るかはわからないですけども、その想定で来たとしても対応できるような建物にはなっていますので、たちまち倒壊してしまうような可能性はないんじゃないかと、逃げる対応ができる

ような時間はあると思います。そういったことに沿って対応していきます。

3-11. 最後にすいません。隅田のある地区では、スクールバスをやってるのではないんですか。

(教育委員会)

隅田ではもともと路線バスが走っていました。隅田小学校は、兵庫小学校と山内小学校の3校が昭和40年代に合併しています。それで河瀬の方とか、下兵庫の方とか、山内の方とか、平野の方というのが、路線バスで通っていた経緯がありますのでスクールバスを運行してるところです。

3-12. 隅田のある方から聞いた話によりますと、そのスクールバスはありがたいんですけど当番があるらしいんです。子供だけを停留所に置いておけない。やっぱり1年生とか2年生、やっぱ早めにバス行くと思うんですよ。そうしましたら、順番に当番が保護者になると、そうすると、やっぱり働いてる母親はすごく多いので、当番に行けない家族が出てくるんですよ。そうしたら、もうそこはもう自分の車で送らざるをえないという状況があると聞いているんですけども。あとは急に熱が出て、停留所まで行けないときの連絡とか、さっきも遅れたりとおっしゃっている方もおったんですけど、スクールバスをただ出すだけではなかなか難しいと思うんです。少子化になりますと、停留所に集まる人数も多分少ない。3日に1回当番とかやってくるんじゃないでしょうか。もう厳しいと思うんですけど、どうなんでしょうか。見守りの方もこの前聞いたんですけど、学文路小学校も3人の方が立ってくれて、男性2人と女性1人。1人の方がもう高齢で3月いっぱい辞められるということで、その確保もできるかも聞いてませんし、地域の方に、やっぱり高齢化してるんで見守るっていうのもちょっと厳しいかなあと思っているんですけどどうでしょうか。

(教育委員会)

ありがとうございます。確かに、隅田の方も見守り当番とか、かなり大変だという声もお聞きしているところです。また、地域の見守りについては、高齢化というのもどんどん進みますので、なかなか先では大変なこともあるかと思います。そういったことも含めながらスクールバス運行にあたっては一緒に考えていきたいと思っています。

3-13. 私としては、言わせていただいた問題をクリアしていただけるなら統合は賛成ですけども、できないのがあれば、そして財政難でもないということなんで、今の状態を維持した方が、人数を見たら統合のときもずっとなんか横這い、清水小学校も学文路小学校も人数はガクンと減ってない。一定で集まっていたと思いますので、維持できるなら財政面でないなら、もうこのまま維持した方がいいんじゃないかなと思っています。

4. 学校再編基本方針の見直しのところの変更後で、不足する教室数のための校舎の改修

や増築の期間を考慮のところで3つ質問させてください。1つ目はどれぐらい教室が足りなくて、どれぐらいの改修を見込んでの期間かとか、13年度から新しく学校始めるとしたらどれぐらい前から始めるのかとか、橋本小学校の子供たちがそこに在籍してるわけですから、安全性の確保とかその辺聞かせていただきたい。2つ目は清水小学校が廃校というか無くなったときに、そのあと大規模改修してませんけれども、どれぐらい使えるのか。トイレは最近綺麗にさせていただいたので、防災、避難所としては活用していきたいと思っているので、その辺はどうか。令和13年度になくするとして、どれぐらい前から跡地利用の検討を、その地区の人とか区長とか含めて話し合いをしてくれるのかというスケジュール感。あと、一昨年6月2日の線状降水帯のときは、中学校の生徒は給食を食べて帰ってきたんですけど、どうしても橋を渡るとなると災害がとにかく気になります。中学校は、子供たちが1日過ごしてもいいように、確か食料品を子供1人に対して1日分置いてくれているとか対策してくださっていると思うんですけど、そういう面もちょっと気になると思っていて、この3点を聞かせていただきたいです。

(教育委員会)

まず、教室の不足数ですけども、最大で5から7教室は足りないと試算してると思います。改修の工事なんですけども、13年度を目標年度にしているわけなので、前には完成する形を考えています。それで工事期間も横で授業しながらになりますので、工事できる期間も限られるかと思います。このような流れをとりながら考えていきたいと思っていますので、一定の年数がかかるとしています。ただ、どうしても授業しながらのところで、工事するかもわかりませんので、ちょっと在校生の方にはご迷惑かける可能性はあるんですけども、できるだけそういったものを避けるように、長期の休みの間とかにという形になりますので、工期としては2年とか3年とか、かかるかなと思っています。次に、跡地の利用ですけども、この辺は計画が決まり、統合準備会も始まっていきますのでそれと並行して進めていくような形になるかと思っています。まだもうちょっと先の話になるかと思っています。あと中学校も災害時に橋を渡る危険性ということなんですけども、できるだけ早めの対応という形で、川が増水する前に対応していけるように考えていきたいと思っています。

(教育長)

災害のことで少し補足させてください。全ての学校では置かれた状況の中で、こういうことが起こったときにどう行動するかということでの災害対応マニュアルを作成しなければなりません。橋本小学校でも、今の状況の中での計画があります。もし、一緒になったとしたら、どんな対応をするかという新たなマニュアルを作成していく必要があります。ですから、安全性を確保できるような対策は、その時点でできるかなと思っています。これは他の学校でも一緒に、どのような形で対応するかは、すべての学校で作成しているところです。また、今言っていた提案を受けながら、また一緒に考えていくことができたらと思います。

説明会に出席していただいた保護者の皆様から意見書に記入いただいた意見、並びに欠席された保護者から提出いただいた意見の内容です。

5. (二次元コード)

欠席者向けの書面で説明資料の QR コードを読み取りましたが、リンク先 pdf を開くことができませんでした。当方のスマホのみで生じている問題であればよいのですが。

統合案・統合時期については異論はありません。一方、同級生の親御さんから、統合前の児童数減少により配置教員数が減少し、複式学級の増加と相まって教育の質が低下する懸念の声を聴きました。発達の凹凸が大きい子供の保護者の私としては、種々のリスクのうちの一つとは認識しつつ、直接コントロールできる事項ではないと考えており、現時点でのアクションは保留いたしました。ただし複式学級で上級生と同時に授業した場合に、我が子の場合は情緒障害の側面が大きく出て、授業中に固まってしまう場面が多いため、先生のご配慮、別の意味で言えば力量が大きく関わってくると考えています。これから学年が上がり高学年となりますが、複式充実の先生の確保をいただけるとありがたいです。

なお、リスクが顕在化し、それが子供の要因ではなく学校運営上の問題であると判断した場合は、しかるべきステップを踏んでエスカレーションさせていただきますのでご承知おき願います。